

君とつばさ



平成25年5月15日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)0771
 (HP) http://www.kotsuiji.com

©交通遺児育英会

重点4項更に強力に

滞納督促など推進継続

理事会

公益財団法人交通遺児育英会は3月19日、都内で第6回通常理事会を開き、25年度事業計画を決定した。第3次長期事業計画の2年目を迎え、育英会は、同計画の課題4項目に引き続き重点を置きつつ、各事業を遂行することとしている。

25年度事業計画決定



25年度事業計画を決定した第6回通常理事会

【主な計画の細目】

- ▼奨学生の採用
新規・継続合わせて、高校・高専483人、大学・短大749人、大学院36人、専修学校183人、各種学校9人の計1460人の採用を予定している。
- ▼奨学金の返還
滞納者に督促状を送るなどを実施する。
- ▼奨学生への指導
昨年から全国一括で開催している高校奨学生と保護者の「つどい」は、参加者がより集まりやすいよう、会場を都心に近い東京・品川に移して開催する。
- ▼奨学生募集集中
その上で、昨年末まで全国各地で実施してきた「相談会」は、開催の意義が解消したため、「つどい」に吸収させて、「つどい」会場に新たに相談の場を設ける。

ことにした。
 また、高奨生の「海外語学研修」は、研修地をイギリスからアメリカに変更して、夏休みに3〜4週間の日程で実施する。

▼学生寮の維持管理
長期計画の一環として、入居率の低い心動東京寮への対応について、塾生の利便性などに配慮しつつ、引き続き多角的に検討する。

▼事業資金の強化・拡大
24年度は、多額の遺贈があったため、寄付金収入が当初予算を大きく上回ったが、今年度事業計画では、個人による寄付金の減少傾向が続くと想定、法人・団体への働きかけをさらに強化することとしている。

このうち、長期計画の重点課題である、過去の法人に押し出されてしまっていることが多い。
 発言力が強い弱いかは、それを構成するメンバーにもよるが、自分の意見が全く反映されていないと感じる人がいれば、その集団はリベラルに運営されていないと言える。

リベラルな生き方

公益財団法人交通遺児育英会 理事長 中根 晃



「自由」というと、自由、その際、大切なのは、自分自身で実行する行動など、連想してしまうので、ここであることであり、その上で「リベラル」という語を使うことにする。

私たちが、家庭生活なり、社会生活で活動できる、納得のいく論理や制度のもとで、リベラルな行動を維持したいと願っている。相手、がどのような思いに立ち、どう感じるだろうかなどと配慮しながら、その都度、自分の考えを明らかにすることが求められる。

新入生の皆さん、おめでとう

言論の自由、行動の自由、通信の自由ということは当たり前のように見えるが、実際には、私たち日本国民が手にすることができた貴重な権利である。

世界には、こうした権利を行使できない国が少なくない。太平洋戦争の終結前のわが国でも、左翼的言動を口にして逮捕、収監、さらには虐殺された国民がいたことが、多々記載されていることを思い合わせれば、現在、私たちが日常的に振舞っている自由な行動は、貴重な権利であることがわかる。

「自由」というと、自由、その際、大切なのは、自分自身で実行する行動など、連想してしまうので、ここであることであり、その上で「リベラル」という語を使うことにする。

私たちが、家庭生活なり、社会生活で活動できる、納得のいく論理や制度のもとで、リベラルな行動を維持したいと願っている。相手、がどのような思いに立ち、どう感じるだろうかなどと配慮しながら、その都度、自分の考えを明らかにすることが求められる。

また、高奨生の「海外語学研修」は、研修地をイギリスからアメリカに変更して、夏休みに3〜4週間の日程で実施する。

▼学生寮の維持管理
長期計画の一環として、入居率の低い心動東京寮への対応について、塾生の利便性などに配慮しつつ、引き続き多角的に検討する。

▼事業資金の強化・拡大
24年度は、多額の遺贈があったため、寄付金収入が当初予算を大きく上回ったが、今年度事業計画では、個人による寄付金の減少傾向が続くと想定、法人・団体への働きかけをさらに強化することとしている。

このうち、長期計画の重点課題である、過去の法人に押し出されてしまっていることが多い。
 発言力が強い弱いかは、それを構成するメンバーにもよるが、自分の意見が全く反映されていないと感じる人がいれば、その集団はリベラルに運営されていないと言える。

つどい開催

8月24(土)・25(日) 東京・品川

寄付者のお名前掲載について

交通遺児育英会は、育英事業の原資として、多くの皆さまから寄付をいただいておりますが、寄付者に一層の謝意を表すため、25年度から、本紙とホームページに寄付者のお名前を掲載することにいたしました。

会長 清水 司

予算、25年度も赤字の見込み

25年度収支予算は、経常収益が財産運用益1億9600万円と受取寄付金2億3000万円などの計4億4900万円。経常費用が305億7300万円になる見込み。

期末の正味財産残高は、305億7300万円になる見込み。

前年度決算予想との比較では、経常収益が前年度の大口遺贈寄付の反動などでマイナス1億7600万円、経常費用が前年度の退職引当金引き下げの反動などで同2300万円、合わせて同1億9900万円となった。

また、資金ベース収支予算では、国庫補助金返還金9300万円の支払いなどが加わり、奨学事業資金積立基金2億1000万円を取り崩して補完する予定。赤字対策としては、寄付金増取と、事業などの見直しによって、一層の経費削減を図ることにしている。

「五月と鳥」

アクリル・紙



多摩美術大学 3年

松原 智子



東京駅近くの国際フォーラムは、巨大なホールで行われているイベントを、上階のカラテ窓越しに見下ろせるようになっている▼今日も、企業説明会だろうか、業種や社名で細かく仕切られたブースに、リクルートスーツの学生が集まっている。不謹慎と叱られそうだが、黒っぽいスーツの群れが、全く不規則に動き回っているのを見ると、わけもなくのぞきこんでしまう▼資料で膨れあがったバッグを抱え、不慣れた緊張に耐えているかのような表情は、さすがに真剣そう。「ブースの敷だけ、希望が転がっている」

（『ワタタシ』羽田圭介著II 講談社）のなら、そのだれでもない、つい背中を押したくなる▼説明会やOB訪問から逃げ回り、「エントリーシート」が何かすらよく知らない大昔の学生には、シューカツそのものが、遠い世界の文化のように映る▼花の便りを楽しみにしてきたころ、沖縄県の専門学校からメールをいただいた。取材で会った奨学生が、願ひ通りに就職を決め、卒業式で代表として謝辞を述べた――朗報には、写真も添えられていた▼学生の未来を見届けようとする学校の思いやり、と受け止めた。萎えた手で押さなかつた。若い人たちは、本気で自身の道を切り開いている。それが、何よりうれしい。おめでとう。

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



心塾入塾式

東京寮に17人

新塾生（前列）らと和やかに記念撮影



関西寮には13人

関西寮には13人が入塾し、4月20日、大阪市内で入塾式＝写真＝が行われた。

Balanced”。(学生は、オーディションを強いられ、うまく行かなければ追われるから、分別がなければ追われない) —と述べ、広い視野で学業に励むようアドバイスした。

交通遺児育英会の心塾入塾式が4月、東京、大阪でそれぞれ行われ、合わせて30人が寮生活をスタートさせた。



東京寮(東京・日野市) 学校にこの春入学した男子では4月6日、大学、専門 8人、女子7人の新入生と

勉強、塾イベント、出会いに意欲

3年生男女1人ずつの計17人が入塾。式には、このうち10人が参列した。



池田道夫さん

式では、中根晃・理事長が、「寮という規則に縛られると考えるが、心塾では、仲間と互いに切磋琢磨しつつ、できるだけベラールに活動して、開かれた塾生活を思い切り楽しんでください」と、真新しいスーツに身を包んだ新塾生にあいさつ。

塾長の石橋健一専務理事は、サミュエル・ウルマンの詩『青春』の一節、

「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ちかたを言う。……たくましい意志、ゆたかな想像力、炎える情熱をさす(以下略) —」を読み上げ、「価値のあることにチャレンジしてほしい」と励ました。



記念撮影(上)の後、中庭で記念植樹(下)に臨む新塾生

「寮は第二の家のようなところ。塾生同士で協力したり時にはぶつかり合ったり

して、ここでしか経験できない貴重な体験を」と、歓迎の言葉を贈った。

米豪派遣32人を決定

海外語学研修

交通遺児育英会は、アメリカとオーストラリアに派遣する平成25年度海外語学研修(第10期)高校生32人を決定した。

(以上福井県)、藪下愛実、藤木奈美(以上大阪府)、中山美香(京都府)、荒木映也、北岡葉子(以上奈良県)、川元菜葉(広島県)、川島安貴(徳島県)、平知晃(愛媛県)、辻川真澄(長崎県)、本永光(福岡県)、前田三貴也(熊本県)、佐藤麻衣子(大分県)、稲福李、古波蔵楓、佐久川愛香(以上沖縄県)

今年から派遣先となったアメリカには50人を超す応募があり、作文審査によって29人を選考。新たに応募資格に加えられた英検3級資格は、このうち21人が取得していた。また、オーストラリアには、3人が選ばれた。

【オーストラリア3人】下山夏末(山形県)、松島この葉(神奈川県)、寺部成美(愛知県) 以上敬称略

燃える青春 部活動権見



君 真 翔 恵 2年

「目が覚めると、天井の模様が違う……。夢の中で家はいたのに。ああ、学校をやめて家に帰りたいと思うと、何もできなくて」

日本航空高校石川(石川県輪島市)野球部2年の恵翔真君(16)は、兵庫県西宮市の実家を離れ、1年前の4月、寮生活を始めた。

監督の市川雅通教諭が、競争が激しい。ほぼ毎週末、レギュラー選手を率いて遠征に出かける間、恵君ら大半の部員は、紅白戦で実戦感覚を養う。花見も過ぎたのに、手が凍えそうな冷たい雨が混じる中、横手投げの恵君がマウンドに立つ。ストリート

「自立したいと思って覚悟して寮に入ったけど、思った以上に厳しかった。入浴時間が決められ、掃除や洗濯も自分でしなければならぬ。干した洗濯ものを自分でたたんでいた時、家では母がやっていたくれたんだなあ、と改めてありがたさが分かった」

授業にも練習にも身が入らない姿は、周囲から見えずわかる。「寮の先輩や



横手投げ 寂しさ振り切る

トを左右に投げ分ける。横手から繰り出すスライダークラッシュが、鋭く大きく曲がる。コーチの中村隆教諭は、「ナチュラル・シフトも悪い。右打者の膝元に食いつき、レギュラー選手でも打ち損ねる」と言う。課題は制球、と自覚している。

「最近、フォームが少しずつ固まってきたので、夏までにはコントロールを磨きたい。(10人以上いる投手の中で)横手投げは自分一人なので、何とかレギュラーになりたい。そのため空腹」を伴って朝練。食事



柔・日課を閉も関節シグや股マンやる二肩軟にすトレ



主練習は、控えることも小学生のころから、腰骨の分離症を抱えている。発症すると、痛み止めを使っても激痛が治まらない。体を休め、自身で管理するしかない。卒業後を考える。航空業界なら、実家から通えるところには神戸空港がある。実家近くの大企業には毎年、先輩が就職している。自分も、と思う。が、「本当は、半年か1年、アメリカに留学してみたい。でも、野球部を3年の夏まで続けて、その後就職や進学の手配をして、それで留学は無理かなあと思います」。

夢は甲子園——エース候補は、多感な青春の真ただ中にいる。



秋元 梢さん (21)

日本外国語専門学校

キャビンアテンダント・
エアライン科 2年

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「母は2004年に事故で亡くなりましたが、その前、私が小学3年の時に、母の故郷である台湾と一緒に旅行しました。その時、機内でCAがトランプをプレイメントしてくれました。優しいもてなしをうれしく感じたことが、強く印象に残っています。幸い父も元気になり、CAの仕事をしてみたいと思いました」

「敬語や言葉遣い、手紙の書き方、電話応対、お茶の入れ方などを学ぶビジネス・マナー、乗務した時に使うエアライン英語などの授業。学生が楽しみにしているのが、エアライン知識。航空会社の歴史や現状のほか、飛行機がどうして飛ぶかという飛行理論や飛行機の歴史も勉強します。

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

初日の出にCAの夢託し



教室に設けられた“客室”で接客練習

就活へ身だしなみを整え

父思い母の故郷しのぶ

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かと考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

わが道

インタビュー

「はい。一番上の姉は北京の大学院に留学中、次の姉は外国語大でインディアンが主で、国際派家族ですね。」

先輩 お元気ですか

マッシュ社員

林 佑哉 さん



略歴

1986年、岐阜県生まれ。2005年、岐阜県立岐阜農林高校環境科学科を卒業し、同年、トリアデザイン専門学校(名古屋)に入学。08年、同校建築インテリア学科卒業後、株式会社マッシュに入社。

父親像“手探りで築く”

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」



休日出勤の日、慌ただしくメールをチェック。注文主や業者との矢張り早の電話打ち合わせが続く

「子どもと一緒にいたい」というのと、そのためにも仕事しなければならぬ、というジレンマを感じる。幼稚園のころ、「父の日」にお父さんの似顔絵を描く課題が、辛かった。だから、いま強く思う。「子どもに寂しい思いはさせたくない」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

「父が病弱だったので、何かあった時にそばにいて対処できるようにと、小さいころから、看護師になろうと思っていました。実際に大学進学の時も看護科を受験しました。それがうまく行かなくて、自分が本当にしたい仕事は何かを考えたら、小さいころの体験をふっと思い出して……」

長じても子どもの絆は絵本

羽ばたけと願う読み聞かせ

法隆寺から真南に2.5キロ。長く生き残ってきた絵本は、話そのものに力がある。奈良県斑鳩町立図書館がぼつんと立つ。司書の北岡亮子さん(46)は、児童サービス担当として、きょうも絵本や児童書の手入れに忙しい。

思いあふれ

臨時職員とはいえ、休館が3月に終わったばかり。だが、言葉にすると、どんなに書いても思いのすべを大切にしたいから。1年半前、夫・明浩さん(享年52)が加害者の刑事裁判が3月に終わったばかり。たこと、遺族がどれほど辛

北岡亮子さん

図書館司書

奈良県斑鳩町



お母さん
ただいま
奮闘中

「子どもに本を手渡す架け橋」が役目と言う。絵本を読み聞かせるお話し会、紙芝居や人形劇を演じてくれるボランティアのとりまとめ、保育園、幼稚園、小中学校に出向いて、お薦めの本を選んで紹介したり、貸し出しに出向いたり。「子どもの反応がすごいんです。話の世界に入り込むと、その雰囲気微妙にわかります。目を輝かせ、じっと絵本を見つめて、口をぽつぽつと開けて聴き入る」

は火曜日なので、土日は出勤日。館長や同僚の配慮に甘えて、週末は多めに休み。遺族として法廷にも立ち、意見陳述した。い思いをしたのかということ、そして被害者の無念の気持ちを知ってほしい。夫ががんばっていた様子、子を初めて知りました。なのに、私は何もしてあげられなかったと思っていて、



図書館が同居する「いかるがホール」は、平日でも市民がよく訪れる文化の拠点

いつまでも返事をしなかった。周囲が勝手に先方に破談を伝えてしまった。でも、話の合う面白い人だったので、内緒で付き合っ

夫の事故後、長女葉子さん(17、高2)、長男柊人さん(13、中2)、末娘の有紗さん(10、小5)がそれぞれ、暗くなりがち。母を支えてくれた。自身もそうだったから、「子どもには好きな道に進んでほしい、家を出て行ってほしい、自分で決めて行動できる子になってほしい。……そう思っています」。

また、世界では2億人もの子どもの労働に従事しています。家が貧しく、学校へ行けないというのが大半の理由で、職業や進路を選ぶことができず。私の家は裕福ではありませんが、学校で学び、自分で進路を決定できます。それは、たくさんの人に支えられているからであり、とても感謝しています。

書が、実家近くの施設図書館に館長として着任したのを機に、アルバイトとして働く機会も得た。一時、大阪の会社に営業

追想の旅
いま、家族をつなぐ絆のつづき。家の書庫を埋め尽くす絵本。子の成長に合わせて買そろえた、『タンゲくん』『きんぎょがにげた』『ピンクのいる山』『べりどぐら』……毎夜、読み聞かせた思い出の深い作品ばかり。

海外語学研修で世界に目を開く
東京都長谷川修馬
都市部の医師の充足率が90%なのに、田舎や離島などでは低くなっています。田舎での勤務を希望する



法隆寺の五重塔も桜に包まれて



職員として勤めたが、数字に追われる日々が「しんどく」なって退社。その間に、通信教育で司書の資格を取った。

追想の旅
夫の生前、家族旅行で訪れた思い出の琵琶湖花火大会に、昨夏、4人で出かけました。冬には京都の山にも、追想の旅に。夫、父の死と向き合いながら、親子は、少しずつ少しずつ、前向きな生活を取り戻していったんです。

高校生の声
ホストクラブと文化について話し合い、外国の友だちができたことで、他国の歴史や政治などに興味を持つようになり、自分の世界が広がりました。この経験を胸に、一歩でも夢に近づけるよう、勉強に励みたいと思います。

破談…結婚

初めての見合いの相手だった。それは、「破談」になったが、ほどなくして、二人は結婚した。

高校の時、「親元から離れて一人生活してみたい」と、兵庫から京都の大学に進学。そこで「児童文化研究会」に加わって、絵本や人形劇に親しんだ。その傍ら、高校生の時に合わせたボランティアで、図書館勤めは2回目。

お茶を入れて家族を味わう
静岡県 鈴木孝二郎
「はい(どうぞ)！」
「あっ！ わかった？ ごめんね。ありがとう！」
「いいよ」

またある日。仕事を終えて慌ただしく帰宅した母から、「ころあい」を見計らって「ご飯だよ！」の声を聞かされてくる。急いで台所に行くが、ご飯をよそったり、並べたりで、まだ準備中だったりする。そんな時は、僕がお茶を入れる。「今日も遅くなったごめんね。ありがとうね」「いいよ。こうして夕食が始まる。こんなことが日々淡々と繰り返されている。「○○ちゃん(兄)はどうしていいか」と実感する瞬間である。



「夫が、間に立った人に

「夫が、間に立った人に

「夫が、間に立った人に

「夫が、間に立った人に

私の学び舎 夢の扉

西南学院大学 国際文化学部

国際文化学科 3年

田口紋菜さん



新入生歓迎準備が進むキャンパスで
束の間春休み



小学4年の時、父の安高
さんを事故で失った(享年
41)。熊本県の実家に、母
しのぶさん(45)と2人の
弟を残して、大学からすぐ
近くのアパートで一人暮らし。
大学でバスケットボール
の同好会に加わって、週1
回、夢中でコートを走り回
る。小学と高校の時、親し
んでいた。途中、中学生の
時だけ、個人プレーに憧れ
て柔道に。黒帯の段位を取
ったが、いまはもう着るこ
とはない。

*公正な貿易へ

3年生の今年、貿易問題
への興味が生じた。ここ
でも、単に米国の貿易では
なく、フェアトレード(公
正な貿易)に目が向かう。
途上国の産品を買いたく
ことなく、公
正な値段でビ
ジネスを行う
世界的なコー
ヒー・チャー
ンを注目して
いる。

世界を見る目が変わった



大学の震災ボランティア
募集に応募したが、選に漏
れて加われな
かった。それ
ならばと、1
年前の春休み
にネットで調
べて自分で申
し込み、フィ
リピンの孤児院を訪ねた。
社会から見放された子らと
過ごした1週間。
「価値観がひっくり返り
ました。教科書やTVで見
聞きするのは違う極貧の
生活があって、ストリート
・チルドレンから「ギブ・
ミー・マネー」と言われた
時は、心をえぐられるほど
衝撃を受けました。
自分も貧しいが、衣食住
に困っていないし大学にも
行っている。わが身を不遇
だと思っただけではありません
が、逆に幸せだと痛感させ
られたほど」

*ハリポタから

それまで、ただ英語の勉
強が好きで、充実した留学
制度を備えた大学、が進路

選択の基準だった。紛争や
国際関係に向かっていた興
味が、学生になって、世界
の貧困やボランティア活動
に転じた。
2年生で、「アメリカ太
平洋文化コース」ゼミを選
びました。

選んだ。ただし、関心の矛先
は、米国ではなく、異端者
として、でも今は、母と、父
を社会から排除する「魔女
狩り」の文化に向けられて
いた。「ハリ・ポッター」
を読みふける。「迷信は怖
いと感じる。」
「すぐ下の弟は、この春、

向き合われるような気が
して。でも今は、母と、父
の話を元談のネタにする
ほどよく話します」
少しばかり肩身が狭いと
感じる。

年末に控える就活では、
「英語を使った仕事に就き
たい」と、その興味の延長
上に絞りを始めている。
昨夏、大学のプログラム
に応募してカナダへ1か月の
語学留学を果たした。
「ホームステイ先で、始
めは相手が何を言っている
のか聞き取れませんでした
が、少ししてヒヤリングに
慣れたら、普通に意見交換
できるようになりました」
授業で英語の発表をこな
せたことでも、「自信があ
りました」。

フィリピンとカナダの写
真を前に、世界の貧困を熱
く語る。笑顔にきらりと輝
く大きな目。瞳の奥に、ス
ポーツで鍛えた持ち前のフ
ァイトがちらりとのぞく。

**豊かな街づくりに、
役立つ宝くじ。**

宝くじの収益金は、図書館や動物園、学校や
公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や
災害に強い街づくりまで、いろいろなかたちで、
みなさまの暮らしに役立てられています。

財団法人 日本宝くじ協会
日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する
事業への助成を行っています。 **日本宝くじ協会ホームページ** <http://jla-takarakuji.or.jp/>